

第二次霧島市総合計画(後期基本計画)施策評価シート

令和7年度

政策	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)	SDGs										
施策	3. 快適生活の基盤づくりの推進											

施策で目指す姿

- 住環境の計画的な整備を推進し、市民が快適さと暮らしやすさを実感し、安心して住み続けられるまちを目指します。
- 幹線道路のバイパス整備、地域の拠点施設を結ぶアクセス道路の整備など、市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保を目指します。
- 社会情勢の変化に適応しながら、自然や産業等、地域の特性を生かした土地利用、景観の形成を図ることで、安全・快適に生活し続けられるまちを目指します。
- 上下水道施設等の計画的な整備・改修、耐震化等や、適切な排水処理施設への転換・接続を図り、水の安定供給と適正な排水処理を目指します。

基本事業における成果・課題・改善策

1. 良質な住環境の整備		決算額	1,582,075千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
● 市営住宅について、外壁等の改修(安全性確保)を2棟、老朽化した設備等の改修(居住性向上)を1棟行うことにより、市営住宅の長寿命化(耐久性向上等)を図られ、居住水準の向上を図ることができた。 ● 公園改修事業について、市内各公園の複合遊具等の更新や丸岡公園ゴーカート車庫兼発着所の改築を行い、利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを推進した。 ● 土地区画整理事業区域内の工事等を行い、事業の進捗を図った。	● 限られた予算で引き続き、安全性の確保、居住性向上等の整備を行うとともに市営住宅の長寿命化を図る。 ● 交付金の配分額が年々、低下しているため、長寿命化計画どおり事業が進まないのが現状である。 ● 交付金等の財源確保に努め、引き続き面整備の推進を図る必要がある。	● 丸岡公園について、施設の老朽化が進行しているため、計画的な更新や機能拡充を行い、来園者の安全・安心な利用環境の確保と魅力向上を図る。 ● 丸岡会館について、利用者の満足度向上に向け、家族連れ等に喜ばれるメニューの提供など、指定管理者と連携して利用促進を図る。 ● 建築物の耐震改修について、高齢者における耐震改修工事を実施しやすくするため、独立行政法人住宅金融支援機構による融資の利用対象証明書の交付事務の導入検討を行う。	
2. 道路ネットワークの構築と道路施設の維持		決算額	1,573,022千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
● 市道について、限られた予算の中で、緊急度の高い路線やまちづくり計画による要望に対して補修や修繕を実施した。 ● 橋梁長寿命化修繕事業について、補修工事2橋、補修設計4橋、修繕工事3橋を実施した。 ● 都市計画道路日当山線は、延長241m区間の道路改良を行い、円滑な車両の移動や安全な歩行空間の形成を図った。	● 国、県、始良市、民間企業と連携し市内の渋滞解消に向けた取組を行ったが抜本的な解決には至っていない。 ● 道路施設の老朽化が進む中、適切な維持管理が求められている。 ● 道路整備の主な財源であった合併特例債が7年度までであるため、新たな財源確保が必要となる。	● 中心市街地における交通量の増加に伴い、交通渋滞が発生していることから、国庫補助事業等を活用しながら、都市計画道路の計画的な整備を進め、円滑な車両交通の確保及び安全な歩行空間の創出を図る。	
3. 計画的な土地の活用と良好な景観づくり		決算額	1,167,307千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
● 都市の現況及び将来の見通しを把握するための都市計画基礎調査を実施した。 ● 屋外広告物管理システムの改修を行い、今後申請を適切に審査するとともに、良好な景観の保全に向けた環境整備を行った。 ● 空き家の適正管理の普及啓発の実施や老朽化した危険な空家の除却費用の一部を助成し、27棟の老朽化した危険な空き家が解体された。 ● 堅馬場通り線や隼人駅東西自由通路等の整備を推進し、安全な歩行空間の確保と快適な駅前空間の形成を図った。	● 開発行為の相談が増加し、また今年度施行された盛土規制法により、開発行為の工法等が多様化し、審査に多くの時間を費やしている。 ● 屋外広告物申請が多様化し、審査に多くの時間を費やしている。 ● 空き家が増加し管理不全空家等にならないよう適正管理を促す普及啓発が必要である。 ● 中心市街地における空き店舗の増加が街の魅力や回遊性を低下させていることに加え、住民が交流する空間が不足していることで、都市としての活力が低下している。	● 都市計画マスタープランに基づき、都市計画区域の見直し・再編と用途地域の見直しを検討し、一体的な都市形成と適正な土地利用を図る。 ● 引き続き、土地利用協議や屋外広告物申請を適切に審査する。また、違反広告物の巡回に努める。 ● 空き家の適正管理の普及啓発を継続して行い、解体補助制度等を活用し、老朽化して危険な空き家の解体を促進する。 ● 利便性の高い公共空間の整備と、回遊性の向上に資する都市基盤施設の整備を進める。	
4. 水の安定供給と適正な排水処理		決算額	634,966千円
令和7年度の事業成果	令和7年度の事業課題(&変化した現状・課題)	令和8年度以降の改善策	
下水道の整備については、工事を進めたことで、整備面積を9.37ha広げることができた。	● 下水道事業については、社会経済状況の変化等により計画通りの整備が進まず、当初の事業計画に対して遅れが生じている。そのため、2021年(令和3年)10月に改定した「霧島市下水道事業経営戦略」及び2019年(平成31年)3月に県が策定した「かごしま生活排水処理構想2019」等を踏まえる必要がある。	● 下水道事業の適正かつ合理的な運営及び健全な経営に努めるとともに、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上を図り、公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備及び施設の維持管理を行う。 ● 老朽化した処理場設備の更新のため、下水道事業全体の最適な維持管理・改築計画であるストックマネジメント実施設計を進めている。	

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
29. ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合	市民意識調査	%		未把握
		66.8%	↑	
30. 都市公園内の更新・新設した公園施設数(累計)	建設施設管理課所管の公園施設の整備状況(N-1)	66件	272.22%	年3件程度の整備を目指していたが、目標以上の整備を行うことができた。
		35件	↑	
31. 市道の改良率	市道の規格改良済の延長／実延長(N-1)	48.7%	66.66%	0.2ポイントの増加となった。
		48.9%	↑	
32. 地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合	市民意識調査	-%	-	未把握
		50%	↑	
33. 生活排水処理率	市生活排水対策推進計画(下水道接続人数＋合併処理浄化槽接続人数)／総人口(N-1)	86.3%	64.44%	下水道への接続については、住民等に工事説明会等で下水道の利点を説明し、接続を促した。
		89.5%	↑	

改善策を踏まえた施策としての取組方針
安心して住み続けられるまちを目指すため、交付金等の財源確保に努め、市営住宅の長寿命化改修や耐震化支援により居住環境を維持する。また、老朽化した公園施設の計画的な更新と機能拡充を図り、安全・安心な利用環境を確保する。 円滑な交通環境の確保を目指すため、道路施設の適切な維持管理に努める。また渋滞対策に向けては、国庫補助事業等を活用し、都市計画道路の計画的な整備を進める。 安全・快適に生活し続けられるまちを目指すために、空家の適正管理、中心市街地の公共空間及び回遊性の向上に資する都市基盤施設の整備を促進する。また、多様化する屋外広告物の申請に対し適正に対応し、良好な景観の保全とまちの活性化に努める。 水の安定供給と適正な排水処理を目指すために、公共用水域の水質保全に努め、老朽化した処理場施設の計画的な更新を図る。

施策幹事課	関係課
建設部建設政策課	総務部財産管理課 / 企画部DX推進課 / 市民環境部市民活動推進課 / 市民環境部環境衛生課 / 農林水産部林務水産課 / 商工観光部商工観光施設課 / 建設部建設施設管理課 / 建設部土木課 / 建設部建築住宅課 / 建設部建築指導課 / 建設部都市計画課 / 建設部区画整理課 / 霧島総合支所市民生活課